

進路だより

2026年 6月 16日

第 8 号

札幌市立八軒東中学校

進路通信



←
進路だより
HP版は
こちらから

○『進路のしおり』（札幌市中学校進路指導協議会 編集） を配付しました。

この冊子には、札幌近郊にある高等学校（公立高校・私立高校）、高等専門学校、特別支援学校、職業訓練施設、専修学校等が紹介されています。その他にも進路に関する様々な情報が掲載されていますので、進路を決定するときの参考にしてください。また、保護者の方にもぜひ読んでいただき、進路についてよく話し合ってください。

巻末には『札幌市内および近郊の高等学校・特別支援学校高等部・職業能力開発施設・専修学校案内図』が載っています。志望しようと考えている高校の大まかな場所を確認し、進路決定の際に役立ててください。

『進路のしおり』の見方

では、『進路のしおり』を見ていきましょう。まずはP1です。これから自分の「進路」を考えていく上での貴重なアドバイスが載っています。

P4は「進路のしおりの読み方」となっています。この本を有効に活用するための読み方が書いてあります。はじめにこれらのページを読んでおいてください。

1. 進学について

P6には『上級学校の種類』の説明が書れています。P7には全日制課程の時間割の例が載っています。授業も毎日6時間（学校によっては7時間、これ以外に放課後の講習がある場合も）で、普通科以外の学校ではその科に関する専門的な科目の学習もすることになり、科目数が多くなります。『進学』を選ぶ人は、「高校は、勉強するための場」ということを念頭におき、進学の目的を明確にし、志望する学校を選んでほしいと思います。

P8には『上級学校選択の観点』が書れています。「自分の能力や個性が伸ばせるか」、「高校で何を勉強するのか」、「自分の将来の進路が実現できるか」、「通学時間や経費はどのくらいかかるか」、「学校の雰囲気はどうか」など観点はいろいろありますが、もっとも大切なことは「自分の意思と責任で志望校を決定すること」です。決定の過程では保護者や先生方など人生の先輩としての大人のアドバイスももちろん大切です。それらのアドバイスに耳を傾ける素直さとともに、最後は自分で決めるのだという気持ちの強さも大切です。

P9からは公立高校の全日制、単位制、定時制、通信制等の課程や学科の特色が載っています。各学科の学習内容や在学中または卒業後に取得可能な資格、卒業後の進路等が載っています。職業科は、更にいくつかの学科にわかれている学校があります。自分が勉強したい内容がどの学科にあるのか確認してください。どの学校も実際に説明会に参加することが大切です。特に職業科は自分の将来の希望とのミスマッチを防ぐためにも必ず説明会に参加した方が良いと思います。（同じ学校でも学科が違えば学習内容や得られる資格に違いがあります。また、自分のイメージと違っていることもあります。）

※単位制の場合、「多くの科目から、希望進路に合わせて自分で選択した科目を中心に学習します」とあります。自分の希望進路をよく考えないまま科目を選択してしまうと、後から必要な科目が履修できなかったという失敗例を聞くこともあるので注意が必要です。

※北海道札幌国際情報高等学校の理数工学科は「工業科」、グローバルビジネス科は「商業科」です。市立札幌旭丘高等学校の数理データサイエンス科は「理数科」です。

P21～24には『定時制・通信制課程の高等学校の特色』、『高等専門学校（高専）について』、『特別支援学校高等部の特色』、『私立高校の特色』が載っています。特に『私立高校の特色』は必ず目を通しましょう。

※通信制高校についての説明は第一学院高等学校の以下のHPでわかりやすく見ることができます。
他の高校も含め、私立通信制高校に興味がある人は一度閲覧することをおすすめします。
(<https://www.daiichigakuin.ed.jp/tsushin/> 通信制高校とは)

2. 就職について

P25～27までは就職決定までの流れが載っています。P26には『社会人としての心構え』が載っています。今すぐ就職する予定がない人も一度は目を通してほしいと思います。安易な気持ちでの就職は早期の離職につながる可能性が高いものです。多くの人がいつかは就職するかと思いますが、しっかりとした心構えが大切です。

P29の表を見ると、就職した人は、札幌市内では23名(0.2%)です。就職を決める方法は、新卒応援ハローワークに紹介してもらう方法と保護者の方の知り合いの方から就職先を紹介してもらう縁故就職の方法があります。最近職種が限られ、企業からの求人もほんのわずかという傾向が見られています。

P26に『就職決定までの流れ』が載っています。新卒応援ハローワークを通して就職する場合、12月に応募書類を提出し、面接試験が行われます。早いほど条件の良い職場があるので、10月くらいには就職の意思を固めるようにしましょう。就職を考えている人は早めに担任の先生と相談しておいてください。自分の希望をはっきりさせ、自分を生かせる職業かよく考えて選択してほしいと思います。

3. これからの進路を考えるときに

P28は『進路年間予定表』です。進路だよりや八軒東中学校HPなどでもお知らせしていますが、学校説明会の開催、学校祭の一般公開などが多く開催されます。より良い進路選択が出来るよう、進路選択に関する情報をしっかり収集してほしいと思います。就職を考えている人は10月から求人が始まります。大まかな進路の日程を確認しましょう。

P29の表は、昨年度の札幌市内すべての中学校の卒業生の進路状況をまとめたものです。高等学校・高等専門学校へ進学した生徒は全体の98.1%となっています。(例年98%前後で推移しています。)

P30、31の『進路設計資料』を見てください。「自分の進路設計」を考えるには、「自分の特徴に対する理解」を深め、「希望する職業に必要な能力・適性」を分析することが大切です。そのための1つの機会として、「進路だより7号」でも紹介した、職業情報提供サイト「job tag」の「職業興味検査」「仕事価値観検査」「職業適性テスト」などの自己診断ツールも一度は試してほしいものです。

P32からは「中学生の主な希望職業とそのモデルコース(例)」が載っていますので、参考にしてください。最近インターネットなどでも検索エンジンで『職業検索』などの言葉でいろいろな職業を紹介したサイトを見つけることも出来ます。この2ページに掲載されている職業以外をいろいろと見ることも可能です。

P34～36は『育英(奨学金)制度について』が載っています。保護者の方にも目を通してもらってください。中学校に募集の案内が届いたものは随時、進路だよりでも紹介していきます。

また、「進路だより特別号」で紹介した、「奨学金情報検索サービス Canpass」(<https://canpass.ashinaga.org/>)で検索してみることも可能です。

4. 高校について

P37～55には『道内公立高等学校の入学者選抜について』が載っています。みなさんは、石狩学区の道立高校と6校の札幌市立高校を制限を受けずに受検することができます。また、公立高校の普通科以外の学科と定時制・通信制については、全道どこへでも制限を受けずに出願できます。(石狩学区以外の全日制普通科高校については定員の10%以内の合格という入学制限を受けます。)

その他、出願変更、入学者選抜の資料、推薦選抜、2次募集、入学願書の書き方、受検の心得等が載っています。(これらの内容は時期が迫ってきたら、進路だよりや進路学活で詳しく説明されますが、きわめて重要な内容です。一度は目を通しておきましょう。)一昨年から道立高校・市立高校ともにWEB申請となりました。P46～49には見本が出ているので確認しておきましょう。公立高校の願書はWEB申請後に印刷し、出願者、保護者が署名して提出です。この場合の「署名」はサインではありません。楷書で一画一画でいねいに記入してください。
～『進路だより9号』に続く～